

医学系研究に関する情報公開文書

| | |
|---------|--|
| 研究課題名 | 機械学習を応用した間質性肺炎の新規予後予測組織学的バイオマーカーの開発 |
| 研究責任者 | 堀 千紗 |
| 研究機関名 | 日本赤十字社医療センター |
| 研究目的と意義 | <p>間質性肺炎は肺が硬くなり酸素の交換がしにくくなる病気であり、原因が分かればその対処と炎症を抑える薬で治療を行います。間質性肺炎は患者さんごとに様々な経過を取るため、治療が効くどうかや急性増悪(急に病気が進んでしまうこと)が起きやすいかどうかを調べる方法が確立しておらず、様々な方法で予測が試みられています。今回、人工知能の中でも機械学習という手法を用いて、肺組織標本から予後の予測を行います。間質性肺炎の病気の解析が進むことで、患者さんごとの個別化された医療の実現や医療費の軽減などへの良い結果が期待されます。</p> |
| 研究方法 | <p>本研究の対象となる方は、2006年1月から2017年12月までに日本赤十字社医療センターにおいて胸腔鏡下肺生検術を受けて間質性肺炎と診断された方です。</p> <p>研究は次のような方法で行います。上記期限内に日本赤十字社医療センターで胸腔鏡下肺生検術の病理組織標本の病変部の組織と患者さんの電子カルテのデータを用いて、予後を判定するプログラムを作成します。プログラムがより正確に予後を予測しているかどうか、GAPモデルなどの既存の予後予測マーカーと比較します。なお、上記で作成したデータは全て匿名化したうえで研究を行うため、個人情報が出れる心配はありません。</p> <p>本研究に参加を希望されなくても、治療上の不利益を被ることはありません。もし本研究に参加を希望されない方は研究から除外いたしますので、下記担当者までご連絡ください。本研究の結果は学会や論文として発表する予定です。</p> |
| 問い合わせ先 | <p>日本赤十字社医療センター 病理部 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者:病理部 堀 千紗、熊坂 利夫 TEL : 03-3400-1311 FAX : 03-3409-1604</p> |